



佐渡市

社

協

だ

よ

り



## 主な内容

### 【特集】

災害ボランティアセンター

…… 2ページ

まるっとふくし…… 4ページ

ボランティアコーナー…… 5ページ

みつめて応募！…… 7ページ

輝く島のねずみ年さん…… 8ページ

第161号

令和2年  
11月10日発行

編集・発行

社会福祉法人 **佐渡市社会福祉協議会**

佐渡市畑野甲533番地 TEL 0259-81-1155 FAX 0259-81-1156

<http://care-net.biz/15/sado-shakyo/>

被災者に寄り添う気持ちが集まる場所

# 災害ボランティアセンター



1995年の阪神淡路大震災以降、大規模な災害が発生した地域に全国からボランティアが集まり、被災者の生活の復旧と被災地の復興を支える活動が行われるようになりました。そして、その力を最大限に発揮してもらうための組織が、今回お伝えする「災害ボランティアセンター（以下、災害VC）」です。

全国的に、被災地の地元社協が市町村等からの要請を受けて災害VCを立ち上げることが多く、佐渡市でも私たち佐渡市社協が立ち上げて運営することになっています。

ここで、なぜ災害時の対応に社協が登場するのか、皆さんは疑問に思いませんか？これには、次のような理由が挙げられます。

- ① 社協は普段から地域の方々と接し、困りごとの解決に向けて取り組みんでいるから。
- ② 社協は福祉に関する相談機関として、また福祉サービスの事業者として、地域で活動しているから。
- ③ 社協は日頃から行政や幅広い機関・団体と連携しているから。

つまり、地域の方々とのつながりや関係機関とのネットワークが社協の強みであり、それが災害時に活かされるということなのです。また、災害VCはボ

ランティアのためのセンターではなく、被災した地域住民のためのセンターであり、地域の支え合いを支援するセンターとも言えます。例えば、「近所の方の手助けをしたいが道具がない」といった場合には、災害VCから道具を貸し出すことによって住民同士による助け合いが成り立つと思います。私たちが事あるごとに重要性を訴えている「地域の支え合い・助け合い」は、災害時にもその困難を乗り越えるための柱になるものではないでしょうか。

今年は新型コロナウイルスの影響で、日本各地の災害被災地でも混乱が発生しています。コロナ禍の状況では、感染症の拡大防止のため、これまでのように県をまたいで広くボランティア活動への参加を呼びかけることは避けざるを得ません。しかしながら、それを理由に活動を行わないということではなく、様々な対策を行いながら被災された方々を支える必要があり、ボランティアの募集に当たっても慎重な検討と判断が求められています。

## 昨年の佐渡市総合防災訓練における 災害ボランティアセンター設置運営訓練の様子



ボランティア受付



受付の列に並ぶ参加者

特に離島である佐渡では、島外からのボランティアの受入れを制限するとすると、必要とする支援に対してボランティアの絶対数が少ないことが予想されます。状況によっては島内の住民によるボランティア活動だけで何とかしなければならぬかもしれません。では、佐渡において、どのような取り組みが必要になってくるのでしょうか。その鍵は地域の皆さんが握っているかもしれません。



## 災害ボランティアセンター 一連の流れ



皆さんは、隣近所の方々をご存じですか？普段から近所の方の顔や家族構成をはじめ、高齢者や身体の不自由な方について知っておくことで、避難の際に声を掛けたり、避難先で「○○さんがいない」と気づいたりすることができそうです。たとえ自分で助けに行くことができなくても、情報を誰かに伝えることで、その方を救うことができるかもしれません。

昨年6月に起きた山形県沖地震の際、島内でも住民同士で声を掛け合って避難した集落がありました。その集落の方にとっては普段のお付き合いの延長線上の動きであり、日頃の関係性が活かされたと言えるでしょう。

一人ひとりが意識することで、地域での助け合いの輪は広がっていきます。まずは、ご近所の方や地域を知ること、を改めて大切にしてみませんか。そして災害が起きた場合には、まずは自分と家族の命を優先し、落ち着いたら「支援する側」となって、その力を活かしていただきたいと思います。

災害に強い地域づくりのためには、普段から災害や災害ボランティアについて学んでおくことも大切です。私たちが実施している「災害ボランティア講座」や「ふくボラ講座（災害編）」は、普段からの備えとして地域でできることを考えたり、自分の住んでいる地域にはどのような危険性があるかなどを考えたりする内容になっています。個人、集落、事業所でぜひご活用ください。

災害はいつ発生するか分かりません。「あの時こうしていればよかった…」と、災害が発生してから考えるのでは遅いのです。「困った時はお互い様」の気持ちをもって日頃からのつながりと助け合いを大切に、災害時にも対応できる地域づくりを仲間と一緒に進めていきましょ。





各地で開催した事業や、新たに誕生した茶の間やサロンの様子をお伝えします。

## 南部3地区

### サロン・茶の間スタッフ交流会

新型コロナウイルスの影響で、サロンや茶の間にも新しい運営方式が求められています。「コロナ禍でどのように活動したらいいのか」という悩みを解決するため、8月25日（火）に交流会を開催しました。3密にならない脳トレやクイズを紹介した後

は、現在の状況や活動の悩みについて意見交換を行い、「こんな活動ならできるかな」とそれぞれが工夫



しながら運営している様子を伺うことができました。コロナ禍の中、今までどりの運営は難しいかもしれませんが、今だからこそ集まれる場を大切にしていきたいと思います。

### サロンスタッフ研修会(両津)

9月15日（火）、各いきいきサロンのボランティアスタッフの皆さんにお集まりいただき、「感染症対策」や「今できるレクリエーション」など、コロナ禍で直面しているサロン運営についての研修会を開催しました。それぞれのサロンでの工夫についても共有し、これからの運営に向けたヒントを得ることができた様子でした。また、

健康体操や脳トレなどの場面ではマスク越しに笑い声も聞こえ、楽しい時間を過ごすごうございました。皆さん、これからもよろしくお願ひします。



## 今月の表紙

### 運転ボランティア フォローアップ講座 (佐和田)

9月25日（金）、運転ボランティアフォローアップ講座を開催しました。相川地区に新しく配置した車両の操作方法について説明し、一人ずつ体験しながら今までの車両との違いについて細かく確認しました。その後、日頃の活動の様子や課題を話し合い、「バックドアはやさしく閉めないと利用の方が風圧で驚くので注意したい」「活動手順を忘れないように自分なりのチェックシートを作っている」など、皆さんの想いや工夫をお聞きすることができました。

利用者の方が安心して気持ちよく利用できるようと願うボランティアの方々の温かい想いが伝ってくる講座でした。参加者の皆さん、お疲れ様でした。



読者の皆さまから  
寄せられた  
ご質問にお答えします

**Q**

リングフルやペットボトルキャップ、ベルマークがあるのですが、どこへ持って行ったら良いのでしょうか。

**A**

収集ボランティアにご協力いただきありがとうございます。それぞれの回収先については次のとおりです。

#### ◆ペットボトルキャップ(エコキャップ)

社協の本所・支所・地域センターで回収しています。お近くの窓口までお持ちいただけると助かります。

#### ◆リングフル(フルタ)

両津地区の有限会社 麻布組様が回収されています。左記までお問い合わせください。

#### 有限会社 麻布組

所在地：佐渡市吾郷1843番地2  
受付時間：8時00分～17時00分  
(月曜日～金曜日)

お問合せ：27-36221

#### ◆ベルマーク

ベルマーク運動に参加できるのは保育園・幼稚園・小学校・中学校・高校などの「学校単位」となっていますので、お近くの学校等にお問合せください。





# ボランチャコーナー

## ふくボラ講座ってなあに？ (福祉ボランティア講座)

ボランティアセンターでは、島内の企業や事業所、集落などを対象に、福祉やボランティアをテーマにした講座を行っています。

### ★講座のプログラム例

- ・高齢者疑似体験(約90分)
- ・認知症サポーター養成講座(約90分)
- ・災害ボランティアについて(約60分)
- ・障がいの理解(約60分)
- ・介護保険を知ろう(約90分)
- ・手話講習(約60分)

他にも様々なプログラムをご用意しています。

詳しい内容につきましては、佐渡市社協本所またはお近くの支所・地域センターまでお問い合わせください。また、ホームページにふくボラ講座の実績を掲載していますので、受講を検討されている方はぜひ参考してみてください。



## ●受講された企業へ インタビュー

### ※答えてくださった方

中野建設工業株式会社

安全衛生担当 中原輝彦 様

### ※受講したプログラムは何ですか？

「災害ボランティアです。」

### ※受講の理由を教えてください。

「当社では例年、教育訓練の一環として、火災や地震などの防災に関する講習会を行っています。今回は少し違った観点から、災害ボランティア活動や、このところ頻発している災害に対する捉え方などを多方面に渡って学びたいと考え、受講しました。」

### ※受講してみて、いかがでしたか？

「災害ボランティアにも種類があることや、その現状について知ることができました。また、災害時に必要な非常持ち出し品の確認や非常食の試食など、日頃からの備えの大切さも学びました。参加者にも十分に役立つものであったと思います。」

中野建設工業(株)様、  
ありがとうございました。



## 24時間テレビ チャリティー募金 募金額のご報告

今年も24時間テレビチャリティー募金を実施しました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、街頭での募金は行わず、社協の各窓口で募金の受付を行うという初めての形式でしたが、多くのご協力をいただきました。

募金総額

**35,614円**



皆さま、  
ありがとうございました！

ボランチャコーナーに関するお問合せは

佐渡市ボランティアセンター

☎ 81-11-55

# あたたかいご寄付を ありがとうございます

令和2年8月16日～10月15日(受付順)

タオル24枚、枕、掛布団カバー、他

1,000円

座布団10枚

テーブル衝立

1万円

こしごぶき60kg

和名 フミ 様(金井新保)

リハビリパンツ4袋、おしぼりタオル60枚、  
タオル10枚、オムツ用布1反

1,000円

コシヒカリ150kg

菊池 實様 ご遺族 様(両津福浦)

タオル41枚、手ぬぐい10枚

箱ティッシュ60個

玄米150kg

1,222円

内田商店 様

3,888円

花よキティー募金 様(相川二丁目裏町)

紙オムツ、タオル

5万円

匿名

匿名

匿名

## 支え合いの花



こちらでも咲きました

両津地区鷺崎の木下様から、  
テーブル衝立の寄付をいただき  
ました。両津デイサービスセン  
ターかんぞうでの新型コロナウイルス  
イルス感染予防対策のためにと  
施設に合わせて製作してくだ  
さったものです。

大切に使用させていただきます。  
ありがとうございます。



## ありがとう、赤い羽根



このたび、新潟県共同募金会の助成を受けて、デイサービスセンターでの入浴介護に使用するライナーリフト一式と、地域福祉事業に使用する車両1台を整備しました。赤い羽根共同募金にご協力くださった皆さまからの贈り物ととらえ、大切に使用させていただきます。

利用者の方々の安全で心地よい  
入浴のために活用します!



島内各地で開催する事業等で活躍します!



心からお礼申し上げます。ありがとうございました。





イラストボランティア 菊池 敏さん（小木）

やってみよう!

# みつけて応募!

上下のイラストには、ちがうところが**5か所**あります。  
イラストをよく見くらべて、ちがいのあるエリアを  
アルファベットでお答えください。

A	B	C	D
E	F	G	H
I	J	K	L
M	N	O	P

## 【応募方法】

◎ 今月は正解者の中から抽選で5名様に、  
新穂地区「愛らんと新穂」様の「しあ  
わせこがねもち」をプレゼントします。  
社協だよりへのご意見・ご要望などを添  
えて、どんどん応募ください!

ハガキに問題の答えの他、必要事項をご記入の上、左記宛先ま  
でお寄せください。

締切: 12月4日(金) 必着

※ご記入いただいた個人情報適切に管理し、景品の発送にの  
み使用させていただきます。なお、当選者の発表は商品の発  
送をもって代えさせていただきます。

※ご記入いただいた質問や感想を紙面に掲載させていただく場  
合があります。ご了承くださいますようお願いいたします。

### 宛先

〒952-0206  
佐渡市畑野甲533番地  
佐渡市社会福祉協議会  
社協だより担当者 行

### 記載内容

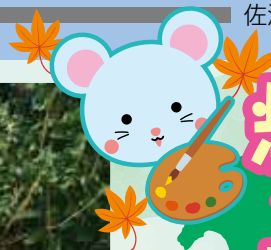
・ 問題の答え・氏名（ふりがな）  
・ 住所・電話番号・年齢  
・ 社協だよりへのご意見、ご要望など

## 【前回の答え】

160号の答えは

「⑧あきなす」でした。

ご応募くださった皆さま、ありがとうございました。



# 輝く島のねずみ年さん

★子年の皆さんの趣味や楽しみ、健康の秘訣を教えます★

★自薦・他薦を問わず、元気な子年の方を募集しています。応募が集中した場合はご期待に添えないこともありますので、ご了承くださいませようお願いいたします。



ほ たか  
**穂鷹** よしあき  
**義明さん** 両津地区  
昭和11年生まれ

学生時代にフィールドホッケーをやっていた名残りで、毎日のラジオ体操や腹筋、スクワット、ウォーキングを25年間続けています。そのおかげか今まで寝込んだこともなく、歯も丈夫で元気に過ごしています。また、読書が好きで、朝から晩まで読んでしまうこともあります。好きな言葉は「陽気」で、1日1回、喜びを作ることを心がけています。



たか の  
**高野** み え  
**三枝さん** 畑野地区  
昭和11年生まれ

介護予防教室に参加して脳トレや体操をしたり、田畑の作業をしたりして、健康づくりをしています。また、新聞や本を読むことが好きで、さまざまな情報を得ています。俳句を詠むことも趣味として長く続けています。近所の友だちと行き来しながら、いろいろな話をして過ごすのも楽しみの一つです。今の健康に感謝し、これからも楽しく生活していきたいです。



子ども向け企画

## ケアの五輪

ごりん

介護の仕事には、どんな種類があるんだろう？  
どうしてその仕事が必要なのかな？

今回は訪問入浴介護サービスを紹介しますよ。



寝たきりなどの理由で自宅のお風呂に入ることが難しくなった方のお宅に特別な車で訪問し、入浴のお手伝いをするのが「訪問入浴介護サービス」です。この車には、浴槽やシャワーのほか、お湯を沸かすボイラーも積み込まれています。入浴に必要なものがほとんど揃っているのです。ご自宅に水と畳1枚分のスペースがあれば、入浴していただくことができます。

入浴中は身体をきれいにするだけでなく、和やかな雰囲気の中で心身ともにリフレッシュしていただけるように声をかけています。プロの介護職員2名と看護職員1名がチームを組んでサポートするので、安心して入っていただきたいと思います。



### まとめ

★自宅のリビングや寝室にお風呂がやってくる「訪問入浴介護サービス」は、住みなれた自宅での生活を支える大切な介護サービスのひとつなんだね！



次回もおたのしみに

